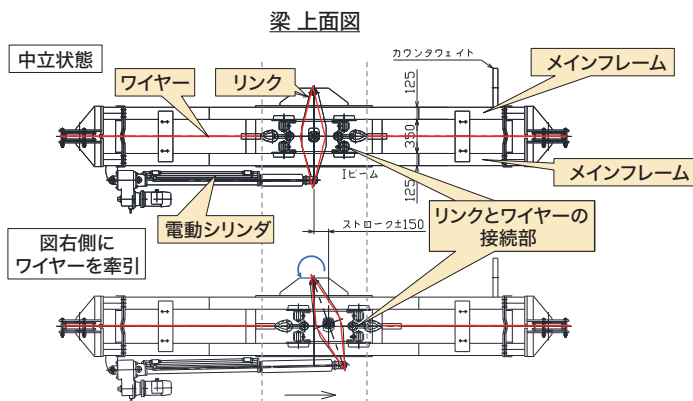


低空頭での床版取替作業を可能とする 改良型門型クレーン・床版吊装置

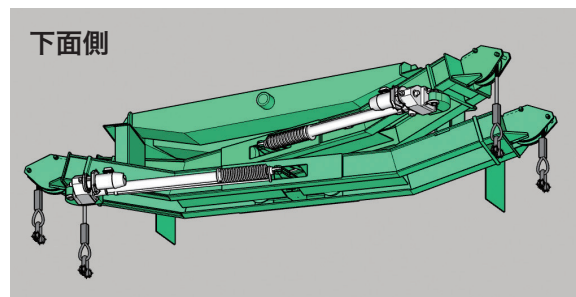
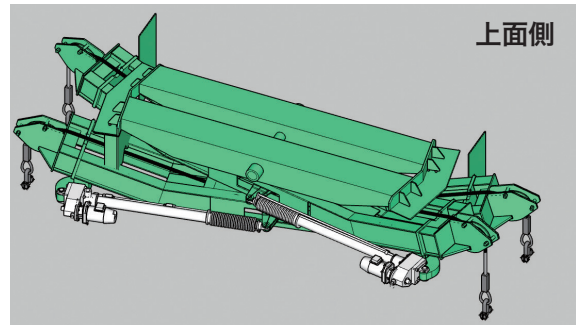
多様な現場条件下での施工に向けて開発

本技術の特徴

現場条件に応じて高さを抑えた門型クレーンと、従来の吊天秤を基に新開発した、低揚程でも床版の据付角度を調整可能な装置を併用することで、空頭制限のある橋梁においても床版取替工事を行うことができます。吊装置には端部4点から懸架されるワイヤーがあり、対向するワイヤー同士が装置骨格内で連結されております。ワイヤー連結部を電動シリンダにて移動させることにより、ワイヤー懸架量を変化させ、床版の吊角度を調整することができます。



ワイヤー懸架量調整機構の概要図



開発吊装置の概要図

クレーンの方は、脚部が油圧ジャッキとクランプとなっております。クレーン本体の移動は、油圧ジャッキの力によって推進し、駐機時はクランプによって走行レールを把持してクレーン位置を固定します。車輪構造での移動と比べ、クレーン本体の逸走の危険性が少なく、安全に作業ができます。

クレーン側面図

